

令和 7 年 6 月 18 日

審 査 評

映画、マンガ、アニメ等作品及び中間生成物等
収蔵施設基本設計者選定委員会

委 員 長 裏 山 晃 生

映画、マンガ、アニメ等作品及び中間生成物等収蔵施設基本設計者選定では、公募型プロポーザル方式を採用し、特定にあたっては「配置予定技術者の能力」及び「企業の実績等」並びに「業務の実施方針及び課題についての提案」に対する評価を行いました。

今回の公募では、1 者からの参加表明がありました。

提出された参加表明書等に基づき、「配置予定技術者の能力」及び「企業の実績等」を審査し、技術提案書提出要請者に選定しました。

その後、提出者より本設計業務に対する独自の実施方針、体制等と合わせ、提示した 2 つの課題に対する提案を示していただきました。また、ヒアリングでは各方面の専門家である委員より提案に対する質疑を行い、提案書に表されていない部分の内容や考え方を確認することができました。

ヒアリング後には、7 名の審査委員による配置予定技術者に対する印象、業務の実施方針及び体制並びに課題への提案内容に対する意見交換及び評価を行い、その結果、参加のあった 1 者が特定されました。

なお、「維持管理に対しても配慮した設計を求めたい。」、「保管に求める機能、機器等に対し、より密に発注者と連携を取ってもらいたい。」といった意見が挙げられました。

今回の提案を基に発注者等と共に十分協議いただき、貴重な映画、マンガ等の作品及び中間生成物等を安全・安心に保存することのできる収蔵庫の設計に結びつくことを祈念しております。